# 科学研究費助成事業 研究成果報告書



令和 4 年 6 月 6 日現在

機関番号: 12601

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2018~2020

課題番号: 18H00881

研究課題名(和文)スマートシティのイノベーション・システム:日本・米国・欧州・中国の比較分析

研究課題名(英文)Innovation Systems of Smart Cities: Comparative Analysis of Japan, United States, Europe, and China

研究代表者

鎗目 雅(Yarime, Masaru)

東京大学・大学院公共政策学連携研究部・教育部・客員准教授

研究者番号:30343106

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 5,300,000円

研究成果の概要(和文):スマートシティのイノベーション・システムに関して、大学、産業、公的機関のアクターから情報収集・分析を行った。データ共有・公開に関して、科学技術・産業分野の種類・特質、標準化・インターオペラビリティ、インセンティブ・モティペーション、オープン・データと知的財産管理、ビジネス・モデル、メインテナンス・マネジメントに関して、実際の現場の状況に関する情報を収集・分析した。イノベーション・システムに向けた公共政策、制度設計の課題として、知的財産権(特許、著作権)に関する基盤的整理、創作性のないデータベースの保護、データベース独自の権利、データ・コモンズの可能性、国際的な枠組み作り・標準化などを検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究では、マクロなデータ分析とミクロ・レベルでのインタビューなどで得られた情報を基にして、同一の分析手法を各国・地域のデータに応用することで、社会的・文化的に異なる条件でイノベーション・システムのメカニズムがどう異なるのか、実証的な検証を行った。各国・地域間でのイノベーション・システムの親和性、その相互作用を通じた変化を理解することで、日本の技術が国際的に有効に活用されるための可能性と課題も明らかにした。長期的にデータ駆動型イノベーションがグローバルに進展する中で、日本と海外のイノベーション・システム間の相互依存に基づく互恵的連携に向けた戦略を検討した。

研究成果の概要(英文): On the innovation systems of smart cities, information was collected and analyzed at the micro level from actors in universities, industry, and public institutions. With regard to data sharing and publication, we collected and analyzed information on the actual situation on the ground regarding the types and characteristics of science, technology, and industrial sectors, standardization and interoperability, incentives and motivations, open data and intellectual property management, business models, and maintenance management. As issues of public policy and institutional design for innovation systems, we examined the basic organization of intellectual property rights (patents and copyrights), protection of non-creative databases, unique database rights, the possibility of data commons, and international framework creation and standardization.

研究分野: イノベーション政策

キーワード: スマートシティ イノベーション・システム 制度分析 日本 米国 欧州 中国

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1.研究開始当初の背景

2030年の国連持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、様々な分野において革新的なイノベーションを促進していくことが世界的に期待されている。特に気候変動の問題においては、効率的なエネルギー供給・消費システムや再生可能エネルギーの導入を通じて温室効果ガスの排出削減をする緩和対策を行うとともに、気候変動によって生じる降雨量の変化や異常気象への適応対策を進める必要があり、そのためには現在世界の人口の半分以上が住む都市におけるイノベーションが極めて重要となる。近年スマートシティは、先進的な情報通信技術 (ICT) のハードウェアとソフトウェアを基盤として、エネルギー、交通、住居、衛生、安全など様々な側面を統合しサービスを提供するイノベーションとして大きな注目を集めている。産学官を含めたアクター間でネットワークを形成し、科学技術に関する研究開発を進めると同時に、社会の様々なセクターに存在するステークホルダーとの連携を通じて、関連する多様な知識を効果的に活用することが求められる。これまで日本国内では大学や研究機関で行われた研究の成果をイノベーションにつなげて社会に貢献していくため、産学官連携が積極的に推進され、政策・制度面に関する整備が着実に行われてきた。国際的レベルにおいても、オープン・イノベーションの創出において提案されている。

特に近年は、実験や計測などから得られた大量かつ多様なデータから科学的知見を抽出する手法を開発し、そこで得られた知見を実験や計測にフィードバックすることで、さらなる知識の進展を促すようなデータ駆動型サイエンスの進展が非常に顕著になっている。さらに、Internet of Things (IoT) などを通じて、これまでは入手することが困難であったような膨大な量のデータ、情報、知識が広範囲に亘る領域において生産・流通することが可能になりつつある。人口知能(AI) を活用して収集された大量のデータから課題を見つけ出しモデル化することによって、精度の高い予測を行ったり、新しい法則やメカニズムを見つけたりするような研究も活発になっている。欧州ではドイツを中心として Industrie 4.0、米国では Industrial Internet、中国では中国製造 2025 が提唱され、ICT を最大限に活用しながら、第4次産業革命とも言うべき変化を先導していく取り組みが産学官の協力の下で打ち出されている。日本では第5次科学技術基本計画の中で、Society 5.0 に向けてサイバー空間とフィジカル空間とを融合させ、人々に豊かさをもたらす超スマート社会の実現に向けた政策が推進されている。

その際特に重要になるのが、データをオープンにすることによって、ステークホルダー間での データや情報の共有が進み、社会全体として研究開発活動がより一層効率化され、イノベーショ ンを促進することである。IoT や AI などの急速な進展により、科学技術を含めた様々なデータ の共有・活用が拡大することで、オープン・データはイノベーションの創出に大きなインパクト を与えると期待される。しかし一方で、オープン・データに関しては様々な懸念も指摘されてお り、例えば維持・管理コストの捻出、データの品質確保、不要データの蓄積などが挙げられる。 産学官連携の活動においては著作権や特許権、企業秘密などの知的所有権も非常に重要であり、 その保護と管理を適切に行うことが求められる。研究活動の成果として生まれたデータ、情報、 知識に関しては、オープン化してパブリック・ドメインにすべきものと、知的所有権として管理 すべきものとの適切な区分・組み合わせをどのように行うべきか、包括的な検討はまだ十分に行 われていない。例えば、欧州では2018年5月から個人データの処理や域外持ち出しに関する新 たなルールを定めた一般データ保護規則 (GDPR) が施行され、中国では 2017 年 6 月からイン ターネット安全法が施行されているが、そうした政策がイノベーションに及ぼす影響に関して は、国際的にもまだ十分な検討が行われていない。オープン・データを通じて様々なステークホ ルダーが関わることで、プライベートとパブリックの両方の側面が複雑に絡み合うため、それを 適切にマネージするためには、グローバルな観点から、イノベーション・システムにおける研究 開発と知的財産のプロセスを再検討し、そのベネフィットとコストを検討しながら、イノベーシ ョンの創出に向けて適切な公共政策と制度設計を検討する必要がある。

近年科学技術の知識の高度化と専門化が急激に進み、個別分野の研究者・組織が他の領域の知識を把握し理解することが困難になっており、イノベーション創出における大きな課題となっている (Foray, 2004)。特にスマートシティは科学技術、経済、社会、制度に関する側面が複雑に絡んでおり、プロセスに関わるステークホルダーも多様であるため、関連する様々な知識を効果的に統合することが必要となる (Yarime, et al, 2012)。特定の領域における具体的な技術的課題に対しては、大学、産業、公的機関におけるアクターがそれぞれ蓄積している知識を提供・共有し、解決策となる共通の新しい技術の開発に向けて連携する仕組みが有効に機能した。今後は、限られた分野の技術的な課題の解決にフォーカスした従来からの産学官連携を発展させ、より広範なステークホルダーとの連携を通じて多様な知識を活用しながら、イノベーションを効果的に促進することが求められる。これまで、積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの資源の流出入を活用することによって、組織内で創出したイノベーションを組織外に展開する市場機会を増やすことを目指した「オープン・イノベーション」が提唱されてきた (Chesbrough, 2003)。最近スマートシティイノベーションの対象が拡大し、技術領域から製品開発やビジネスモデル

へ、さらにサービス提供プラットフォームの構築から顧客体験を含めたイノベーションへと研究開発から新事業創出まで広がっている。またこれまでの企業間もしくは企業・大学間の一対一の連携から、産学官にユーザーを加えた複数のステークホルダーがフレキシブルに連携するエコシステムを目指した「オープン・イノベーション 2.0」も進められている (Curley and Salmelin, 2013)。 しかしながら、IoT などを通じた大量のデータの共有・活用を基にしたオープン・イノベーションに関しては、まだ十分な分析がなされていない。

これまでイノベーションに関しては、組織・マネジメント研究における個別企業の戦略的アラ イアンスに関する研究(Gulati, 1998, 1999; Gulati and Gargiulo, 1999; Gulati, Nohria, and Zaheer, 2000)、(Hagedoorn, 2002)や、企業間における知識活動の配分・分担に関する研究 (Takeishi, 2001, 2002; Lee and Veloso, 2008; Zirpoli and Camuffo, 2009)などはあったものの、 イノベーション・システムの全体的な構造や機能を踏まえてアクター間の連携の研究はあまり 行われてこなかった。イノベーション・システムに関しては、世界各国・地域における科学技術、 経済、社会などの特徴を反映して、様々なモデルが存在する (Nelson, 1993; Freeman, 1995; Greenhalgh and Rogers, 2010)。例えば、米国・シリコンバレーでは、アップル、グーグルなど の世界有数の IT 企業が集積し、圧倒的な投資額を誇るだけでなく、起業家メンターとしてのべ ンチャー・キャピタルやエンジェル投資家、世界最大規模のインキュベーター・アクセラレータ ーが存在し、エコシステムを形成するアクター間の人材流動も盛んである。ドイツでは、明確な グランド・デザインに基づき、公的研究機関であるフラウンホーファー協会が大学と産業の橋渡 し機能を担い、産学の連携を促進する評価基準、予算配分、技術移転、アントレプレナー支援な ど充実した体制を整備している。一方、中国では従来からの低コストの労働力を基盤とした製品 の製造から、IT、電機電子産業を中心として先端的なイノベーションを創出するシステムに急速 に転換しつつある。特に深圳、広州、東莞、香港に跨る珠江デルタ地域では、ファーウェイ、ZTE、 テンセント、DJI、BYD などの世界的企業が生まれており、またアイデアの製品化の支援を始 め、モジュールの提供や少量生産など、世界のメイカーズのためのサービスを迅速に提供するオ ープン・ソース・ハードウエアのスタートアップ企業なども成長してきている。これまでの製造 業の発展を基盤とした多数の部品やサービスのサプライヤーのほか、生産ライン、物流、質の高 い労働者などを有するイノベーション・システムが形成されつつある。

### 2.研究の目的

本研究では、大量かつ多様なデータを基盤として、大学、企業、政府などのステークホルダー がどのように協力・連携し、知的財産の管理やセンシティブな情報の保全などを考慮しながらイ ノベーションを創出しようとしているのか、イノベーション・システムの観点から国際比較研究 を行う。特にスマートシティに向けたイノベーションに関わるステークホルダーは、ICT、エネ ルギー、交通、住宅、社会基盤など様々なセクターから参加しており、多様なアクター間での連 携のメカニズムの分析を実証的に検証することの意義は非常に大きい。本研究では、科学論文・ 特許・製品などに関するデータベースを構築し、情報・知識の流れのネットワーク構造をマクロ 的に分析するとともに、大学・企業・公的機関からのインタビューなどを通じてミクロ・レベル の情報収集を行い、日本、米国、欧州、中国を含めた国際比較分析を行う。関連するエネルギー、 電機電子、自動車、住宅産業などの特質を踏まえて、異なるセクター間の連携を通じたスマート シティのイノベーション・システムのメカニズムを検証する。環境・健康・安全などにも配慮す ると同時に競争力の向上にもつながるようなイノベーション・システムを創出し維持する、広い 意味での社会的ビジネスモデルの構築に向けて、公共政策・制度設計の観点からの具体的な提案 を目指す。学術的には、スマートシティに関わる科学技術を含めた多様なデータの効果的・効率 的な収集・分析・活用を基盤とするイノベーション・システムの分析を通じて、今後ますます重 要性を増すと考えられるデータ駆動型 Data-Driven (Hay, Tansley, and Tolle, 2009)イノベーシ ョンのメカニズムを解明することが大きな貢献となる。

## 3.研究の方法

本研究では、米国、欧州、中国におけるイノベーション・システムの研究者と協力体制を構築し、各国・地域の状況を踏まえた国際比較研究を行う。最初は主に文献調査を通じて、日本、米国、欧州、中国におけるイノベーション・システムに関する基礎的な情報を収集・分析する。特に、各国・地域におけるイノベーション・システムの特徴として、知識・技術ドメイン(産業セクター別特性)、アクター間の関係・ネットワーク(大学、公的研究機関、既存企業、スタートアップ企業、政府、産業団体、非政府組織)、制度環境(知的財産権(特許・著作権)、標準化、R&D 支援、情報普及、市場競争、アントレプレナー支援、オープン・データ)に注目し、基本的な背景を整理する。次にスマートシティに関するイノベーション・システムについて、科学論文、特許、研究開発コンソーシアム、実証プロジェクトなどに関するデータベースを構築し、大学、企業、公的機関の連携関係を解明する。Scopus 科学論文データベース、各国・地域特許データベース(特許庁、USPTO、EPO、SIPO)、研究開発コンソーシアム・実証プロジェクト報告書(NEDO/JST, NIST/DOE/ARPA-E, EU Horizon 2020, NSFC)、業界紙・レポートなどを活用し、関連する個人や組織を同定する。大学、企業、公的機関などの性質・属性に関するデータベースと、科学論文共著、特許共同出願、共同技術開発、共同実証プロジェクトなどのデータベースを結合して、広範なリレーショナル・データベースを構築することで、イノベーション・システムに関

わるアクター間の関係性が解明される。マクロ的な構造の分析に基づいて、大学、産業、公的機関のアクターに対してインタビューを行い、ミクロ・レベルの情報収集・分析を行う。具体的には、データ共有・公開に関して、科学技術・産業分野の種類・特質、標準化・インターオペラビリティ、インセンティブ・モティベーション、オープン・データと知的財産管理、ビジネス・モデル、メインテナンス・マネジメントなどに関して、実際の現場の状況に関する情報を収集・分析する。その上でイノベーション・システムに向けた公共政策、制度設計の課題として、知的財産権(特許、著作権)に関する基盤的整理、創作性のないデータベースの保護、データベース独自の sui gener is 権利、データ・コモンズの可能性、国際的な枠組み作り・標準化(OECD, ISO, UN)などを検討する。マクロなデータ分析とミクロ・レベルでのインタビューなどで得られた情報を基にして、同一の分析手法を各国・地域のデータに応用することで、社会的・文化的に異なる条件でイノベーション・システムのメカニズムがどう異なるのか、実証的な検証を行う。各国・地域間でのイノベーション・システムの親和性、その相互作用を通じた変化を理解することで、日本の技術が国際的に有効に活用されるための可能性と課題も明らかになる。長期的にデータ駆動型イノベーションがグローバルに進展する中で、日本と海外のイノベーション・システム間の相互依存に基づく互恵的連携に向けた戦略を検討する。

#### 4.研究成果

本研究では、世界的にオープン・イノベーションの活用に向けた取り組みが進む中で、大学、 産業、公的機関を含めたステークホルダーの間の連携がどのように進められているのか、イノベ ーションを効果的、効率的、かつ公正に促進するためには、どのような戦略や組織を構築する必 要があるのか、さらにどのような公共政策や制度設計が適切であるのか、IoT に関する企業戦略 (Porter, 2014, 2015) を踏まえて、イノベーション・システムの観点から理論的なフレームワ ークの検討と統計データとインタビューを通じた実証的な検証を行った。これまで行ってきた 化学(Yarime, 2007)、電機電子(Yarime, 2008)、自動車(Dijk and Yarime, 2010; Pohl and Yarime, 2012)など各産業に関する知見を活用し、異なるセクター間の連携によるスマートシテ ィのイノベーション・システムのメカニズムを検証した。特に、オープン・データを通じた知識 生産の変革に伴って生じうる様々な可能性と課題に対して、日本、米国、欧州、中国のイノベー ション・システムがどのように対応しているのか、具体的な事例を通じて検討した。研究開発に おける科学データの公開、IoT などを通じたデータの収集、知的財産の管理、個人情報の保護、 セキュリティーに関するセンシティブ情報など、大量かつ多様なデータの存在が活動にどのよ うな影響を与えているのか、産学官を含めたステークホルダーの間での共有に対するインセン ティブをどうするのか、適切なマネジメントのためにはどのような戦略や制度が必要になるの かなどを議論した。

今回の研究では、データ駆動型イノベーション・システムに関する研究の世界的なネットワー クを形成し、長期的な貢献をしていくことを目指した。日本では科学技術イノベーション戦略 2017 などを通じてイノベーション創出に向けた知識、人材、資金の好循環システムの構築を目 指しており、オープン・イノベーションを推進する仕組みを強化し、知的財産・標準化の政策と 制度設計が喫緊の課題となっている。IoT、AI などの急速な発展を踏まえて、知財システムの構 築、標準化の人材の育成や戦略的な活動などへの具体的な提案に向けた検討を行うことで、オー プン・データへの取り組みを進める日本のイノベーション・システムの発展に有意義な貢献をす ることを目指した。また本研究の成果を国際会議で積極的に発表・発信していくことは、地球持 続可能性などの社会的課題に向けたイノベーションに関する知見・経験を海外の研究者の間で 共有し、グローバルなレベルで推進していくにあたって極めて重要である。海外の研究者と積極 的に連携・共同研究を進めていくことで、国際レベルでの研究者コミュニティーにおいて存在感 を示し、将来的に研究成果の国際的な発表を活発化させることに貢献した。科学技術を含めたオ ープン・データに関しては、G8,OECD, UNなどを通じて国際的なネットワークの構築が進みつつ あり、今後グローバルな観点からイノベーション・システムの発展に向けて、技術・経済・政策 のインターフェースをコーディネートし標準化を図っていく際に、国際的な連携を行うための チャネルとなるネットワークを形成した。すでに多くの国際会議において、スマート・シティに 向けたイノベーションのケース・スタディに関する研究発表を行うとともに、世界各国における 研究者や産業実務家、政策担当者などと最新状況に関する意見交換を行った。

# 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計35件(うち査読付論文 35件/うち国際共著 35件/うちオープンアクセス 5件)

1. 著名名 Ahl, Aemoda, Wika Coto, Nasaru Yarine, Kenji Tanaka, and Daishi Sagasa 2. 論文確認 Chailangus and opportunities of blockchain energy applications: Interrelatachess among 2. 第文確認 Remeable and Sustainable Energy Reviews 3. 利益名 Remeable and Sustainable Energy Reviews 4. 意 Remeable and Sustainable Energy Reviews 5. 飛行年 2022年 11823 7. 一プンアクセス 7. 一プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7. 著名名 Satti, Anjar Dirara, Adam Irwansyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Wasaru Yarine, Cristina Vega-Barcia, Elprida Agustina, Dionisius Tibisono, Tania Septi Anggraini, Meganati Oktaviani Theodora, Desi Remeabenti, Michael Andhil Nuhamad, Nuhamad Aufaristana, Agung Nahadi 2. 為文経整 Sattial Prioritzation for Wildire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Halti-Dimensional Approach for Tropical Sainforests 8. Mish Sanuta Sanu	<b>〔 雑誌論文 〕 計35件(うち査読付論文 35件 / うち国際共著 35件 / うちオープンアクセス 5件 )</b>	
2. 前文様題 Challenges and opportunities of blockchain energy applications: Interrelatedness among technological, ecoconic, social, environmental, and institutional dimensions 3. aliaSE Reverachie and Sustainable Energy Reviews 4. aliaSe Reverachie and Sustainable Energy Reviews 5. aliaSe Reverachie and Sustainable Energy Reviews 6. aliaSe Reverachie AliaSe Reve	1. 著者名	
Challenges and opportunities of blockchain energy applications: Interrelatedness among technological, econoric, social, environmental, and institutional dimensions 3. 接話名 Rememble and Sustainable Energy Reviews [12623] [日本語文の001 (デジタルオプジェクト提別子) [17623] [日本語文の001 (デジタルオプジェクト提別子) [17727] [日本語文の001 (デジタルオプジェクト提別子) [17727] [日本語文の22-112825] [日本語文の	Ani, Amanda, Mika Goto, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa	100
Challenges and opportunities of blockchain energy applications: Interrelatedness among technological, econoric, social, environmental, and institutional dimensions 3. 接話名 Rememble and Sustainable Energy Reviews [12623] [日本語文の001 (デジタルオプジェクト提別子) [17623] [日本語文の001 (デジタルオプジェクト提別子) [17727] [日本語文の001 (デジタルオプジェクト提別子) [17727] [日本語文の22-112825] [日本語文の	2 . 論文標題	5.発行年
technological, economic, social, environmental, and institutional dimensions 6		
Renewable and Sustainable Energy Reviews    112623   投稿論文のDOI(デジタルオブジェクト機例子)   査読の有無 有	technological, economic, social, environmental, and institutional dimensions	·
選議の (	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
選議の (		
1.1016/j.rser.2022.112623   有   オープンアクセス   日際共著   該当する   オープンアクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   日際共著   該当する   1. 著名名   Sakti, Anjar Diarra, Adam Irwansyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Masaru Varime, Cristina Vega-Garcia, Elprida Agustina, Dionisius Wibisono, Tania Septi Anggraini, Megawati Oktaviani Theodora, Desi Ramachanti, Miqdad Fadhill Muhamad, Muhamad Aufaristama, Agung Mahadi Putura Perdana, and Ketut Witantika   2. 論文理題   5. 現行年 2022年   20	37	
1.1016/j.rser.2022.112623   有   オープンアクセス   日際共著   該当する   オープンアクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   日際共著   該当する   1. 著名名   Sakti, Anjar Diarra, Adam Irwansyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Masaru Varime, Cristina Vega-Garcia, Elprida Agustina, Dionisius Wibisono, Tania Septi Anggraini, Megawati Oktaviani Theodora, Desi Ramachanti, Miqdad Fadhill Muhamad, Muhamad Aufaristama, Agung Mahadi Putura Perdana, and Ketut Witantika   2. 論文理題   5. 現行年 2022年   20	日本社会会の1001/プックリーナープップ   カーナ神ロリフン	*=-
オープンアクセス  1 . 著書名  2 . 論文報證  1 . 第四世記  1 . 著書名  2 . 論文報證  1 . 第四世記  1 . 著書名  2 . 論文報證  1 . 記述機證  1 . 記述表 Policy  2 . 論文機證  1 . 記述表 Policy  2 . 論文機證  1 . 記述表 Policy  2 . 論文機證  1 . 記述者名  2 . 論文機證  1 . 記述表 Policy  2 . 論文機證  1 . 記述者名  2 . 論文機證  1 . 記述者名  2 . 論文機證  2 . 論文機證  3 . 相述者  2 . 論文機證  1 . 記述者名  3 . 相述者  2 . 論文機證  1 . 記述者名  3 . 相述者  2 . 論文表 Policy  2 . 論文機證  2 . 論文機證  2 . 論文機證  2 . 論文機證  3 . 相述者  2 . 論文機證  4 . 是  2 . 論文機證  3 . 相述者  2 . 論文機證  3 . 相述者  2 . 論文機證  4 . 是  3 . 相述者  2 . 論文機證  2 . 論文機證  3 . 相述者  2 . 論文機證  3 . 相述者  3 . 相述者  2 . 論文表 Policy  3 . 相述者  3 . 相述者  3 . 相述者  4 . 是  5 . 発行年  2 . 記述者  2 . 論文表 Policy  3 . 相述者  4 . 是  5 . 発行年  2 . 記述者  5 . 発行年  2 . 記述者  2 . 語述者		_
1. 著名名   Sakti, Anjar Dinara, Adam Irwansyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Masaru Yarine, Cristina Yapa-Garcia, Elprida Apastina, Dionisius Wibisono, Tania Septi Angaraini, Megawati Oktaviani Theodora, Desi Bamadhanti, Miqdad Fadhil Muhamad, Muhamad Aufaristana, Agung Mahadi Putra Perdana, and Ketut Wikantika   2. 論文標題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Juniti-Dimensional Approach for Tropical Rainforests   5. 飛行年 2022年 2022年 2. 編文標題 Remote Sensing   5. 飛行年 2022年 2022年 2. 編文標題	10.1016/J.rser.2022.112623	月
1 ・著名名 Sakti, Anjar Dinara, Adam Irwansyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Masaru Yarime, Cristina Vege-Garcia, Elprida Agustina, Dionisius Wibisono. Tania Septi Anggraini, Megawati Oktaviani Theodora, Desi Ranadhanti, Miqdad Fadhil Muhammad, Muhammad Aufaristama, Agung Mahadi Putra Perdama, and Ketur Wikantika 2 ・ 漁文課題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dimensional Approach for Tropical Rainforests 3 ・ 始起程 Remote Sensing 6 ・ 最初と最後の頁 543  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10・3390/rs14030543 7 ープンアクセス メープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・著名名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime 2 ・ 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Sovernance for the Public Good 3 ・ 根語名 Osovernance for the Public Good 3 ・ 根語名 Dolicy	オープンアクセス	国際共著
Sakti, Anjar Dirara, Adan Irwaneyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Masaru Yarine, Cristina Vega-Garcia, Eprida Agustina, Dionisius Whibson, Tania Septi Anggraini. Megawati Dktaviani Theodora, Desi Ramadhanti, Miqdad Fadhil Muhammad, Muhammad Aufaristama, Agung Mahadi Putra Perdahan, and Ketut Wikantika  2. 追文標題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dirensional Approach for Tropical Rainforests  3. 極語名 Remote Sensing  6. 最初と最後の頁 543  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarine  2. 追文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Sorvemance for the Public Good  3. 極語名 Data & Policy  4. 後 3. 極語名 Casulta Spatial Prioritization Data Spatial Data: A New Multi-Dirensional Approach  5. 飛行年 2021年  6. 最初と最後の頁 6. 最初の有無 7ープンアクセス  1. 著名名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarine, and Motoharu Onuki  2. 追文標題 A comparison of snart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3. 種語名 Sustainability Science  4. 後 16 1777-1798 18 28 28 28 29 30 40 40 50 51 51 52 52 54 54 54 54 55 54 54 55 54 54 55 54 54	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Sakti, Anjar Dirara, Adan Irwaneyah Fauzi, Wataru Takeuchi, Biswajeet Pradhan, Masaru Yarine, Cristina Vega-Garcia, Eprida Agustina, Dionisius Whibson, Tania Septi Anggraini. Megawati Dktaviani Theodora, Desi Ramadhanti, Miqdad Fadhil Muhammad, Muhammad Aufaristama, Agung Mahadi Putra Perdahan, and Ketut Wikantika  2. 追文標題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dirensional Approach for Tropical Rainforests  3. 極語名 Remote Sensing  6. 最初と最後の頁 543  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarine  2. 追文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Sorvemance for the Public Good  3. 極語名 Data & Policy  4. 後 3. 極語名 Casulta Spatial Prioritization Data Spatial Data: A New Multi-Dirensional Approach  5. 飛行年 2021年  6. 最初と最後の頁 6. 最初の有無 7ープンアクセス  1. 著名名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarine, and Motoharu Onuki  2. 追文標題 A comparison of snart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3. 種語名 Sustainability Science  4. 後 16 1777-1798 18 28 28 28 29 30 40 40 50 51 51 52 52 54 54 54 54 55 54 54 55 54 54 55 54 54		
Cristina Vega-Garcia, Elprida Aqustina, Dionisius Wibisono, Tania Septi Anggraini, Megawati Nctaviani Theodora, Desi Ramadhanti, Miqdad Fadhii Muhammad, Muhammad Aufaristama, Agung Mahadi Putra Perdana, and Ketut Wikantika  2. 論文種題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dirensional Approach for Tropical Rainforests  3. 解誌名 Remote Sensing  6. 最初と最後の頁 543  Remote Sensing  7 プンアクセス  1 著名名	—	4 . 巻
Oktaviani Theodora, Desi Ramadhanti, Miqdad Fadhil Muhammad, Muhammad Aufaristama, Agung Mahadi Putra Perdana, and Ketutt Wikantika 2 . 論文標題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dimensional Approach for Tropical Rainforests 3 . 雑誌名 Remote Sensing  おープンアクセス  国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著名名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime 2 . 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good 3 . 雑誌名 Data & Policy  おもプンアクセス  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オープンアクセス  1 . 著名名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 1 . 著名名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 2 . 論文標題 A . comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis 3 . 雑誌名 Sustainability Science  「表現ひと最後の頁 1. 著名名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 1 . 新行年 2021年 2		14
Putra Perdana, and Ketut Wikantika  2 i 論文課題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dinemsional Approach for Tropical Rainforests  3 i 雜誌名 Renote Sensing  8	Cristina Vega-Garcia, Elprida Agustina, Dionisius Wibisono, Tania Septi Anggraini, Megawati	
Putra Perdana, and Ketut Wikantika  2 i 論文課題 Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dinemsional Approach for Tropical Rainforests  3 i 雜誌名 Renote Sensing  8		
Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dimensional Approach for Tropical Rainforests  3 . 雑誌名 Remote Sensing 6 最初と最後の頁 543  掲載論文のDOD1 (デジタルオプジェクト識別子)		
Spatial Prioritization for Wildfire Mitigation by Integrating Heterogeneous Spatial Data: A New Multi-Dimensional Approach for Tropical Rainforests  3 . 雑誌名 Remote Sensing 6 最初と最後の頁 543  掲載論文のDOD1 (デジタルオプジェクト識別子)	2 . 論文標題	5.発行年
Multi-Dimensional Approach for Tropical Rainforests Remote Sensing 6 . 最初と最後の頁 543 6 . 最初と最後の頁 543 7 - ブンアクセス		
3 . 雑誌名 Remote Sensing 6 . 最初と最後の頁 543  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs14030543  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime 2 . 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good 3 . 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  カープンアクセス  国際共著 オープンアクセス  国際共著 カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis Sustainability Science  おようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		•
展載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs14030543 カーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) コ際共著 とi、Veronica Qin Ting、and Masaru Yarime 2.論文標題		6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs14030543		
10.3390/rs14030543 有 国際共著	nomete conting	0.0
10.3390/rs14030543 有 国際共著		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime 2. 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good 3. 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オープンアクセス  1. 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis 3. 雑誌名 Sustainability Science  4. 巻 16 5. 発行年 2021年 2021年 2021年 2021年 2021年 3. 雑誌名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis 3. 雑誌名 Sustainability Science  4. 巻 16 1777-1796 18戦論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x 18戦論の有無 10.1007/s11625-021-01005-x	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
*** オープンアクセスとしている(また、その予定である) *** 該当する**  1. 著者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime *** 3  2. 論文標題	10.3390/rs14030543	有
*** オープンアクセスとしている(また、その予定である) *** 該当する**  1. 著者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime *** 3  2. 論文標題		
1. 著者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime  2. 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good  3. 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オーブンアクセス  I 国際共著  **  **  **  **  **  **  **  **  **		
Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime  2. 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good  3. 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オープンアクセス  1. 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3. 雑誌名 Sustainability Science  3. 発行年 2021年  4. 巻 16  5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 1777-1796  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有 オープンアクセス  国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime  2. 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good  3. 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オープンアクセス  1. 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3. 雑誌名 Sustainability Science  3. 発行年 2021年  4. 巻 16  5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 1777-1796  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有 オープンアクセス  国際共著		
2. 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good  3. 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オープンアクセス  1. 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3. 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有  オープンアクセス  国際共著	—	
Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good  3 . 雑誌名	Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime	3
Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good  3 . 雑誌名	2 给金金	F 発行在
Governance for the Public Good  3 . 雑誌名 Data & Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27  オーブンアクセス  オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3 . 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  国際共著		
3 . 雑誌名 Data & Policy 6 . 最初と最後の頁 e29 書読の有無 有		2021年
Batta & Policy e29  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有		6 是初と早後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.1017/dap.2021.27 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis 3. 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  国際共著	Data & Fortey	623
10.1017/dap.2021.27 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis 3. 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  国際共著		
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する  1 . 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1 . 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 16  2 . 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3 . 雑誌名 Sustainability Science 6 . 最初と最後の頁 1777-1796  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x 有	10.1017/dap.2021.27	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1 . 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki 16  2 . 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3 . 雑誌名 Sustainability Science 6 . 最初と最後の頁 1777-1796  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x 有		
1 . 著者名 Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3 . 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  国際共著		
Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2.論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3.雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  国際共著	オーブンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2.論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3.雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  国際共著	· ***	4 244
2. 論文標題 A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3. 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有  オープンアクセス  国際共著		_
A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3.雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有  オープンアクセス  国際共著	Sakuma, Natsumi, Gregory Trencher, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	16
A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3.雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有  オープンアクセス  国際共著		- 3v./= h-
identified from a literature review and co-occurrence network analysis  3.雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x  有  オープンアクセス  国際共著		
3.雑誌名 Sustainability Science6.最初と最後の頁 1777-1796掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x査読の有無 有オープンアクセス国際共著	A comparison of smart city research and practice in Sweden and Japan: Trends and opportunities	2021年
Sustainability Science       1777-1796         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-01005-x 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1007/s11625-021-01005-x 有 オープンアクセス 国際共著	Sustainability Science	1777-1796
10.1007/s11625-021-01005-x 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1007/s11625-021-01005-x 有 オープンアクセス 国際共著	□  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
The state of the	10.1001/011020 021 01000 A	r
The state of the	オープンアクセス	国際共著
		* * * *

1 孝太子	A 244
1. 著者名	4.巻
Papyshev, Gleb, and Masaru Yarime	3
2 . 論文標題	5 . 発行年
	I .
Exploring city digital twins as policy tools: A task-based approach to generating synthetic	2021年
data on urban mobility	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Data & Policy	e16
·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1017/dap.2021.17	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Spandagos, Constantine, Erik Baark, Tze Ling Ng, and Masaru Yarime	143
2	F 384-7-
2.論文標題	5.発行年
Social Influence and Economic Intervention Policies to Save Energy at Home: Critical Questions	2021年
for the New Decade and Evidence from Air-condition Use	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Renewable and Sustainable Energy Reviews	110915
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
担無公立の2017では、サイン・カー神団フン	本芸の左仰
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.rser.2021.110915	有
オープンアクセス	   国際共著
· · · · · · = · ·	国际共者   該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該ヨ9つ
1.著者名	4 . 巻
Shapiro, Matthew A., and Masaru Yarime	118
onaprio, matriew A., and masard rarine	110
2.論文標題	5.発行年
	2021年
Effects of National Affiliations and International Collaboration on Scientific Findings: The	ZUZI <del>+</del>
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia	
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia	6.最初と最後の頁 71-85
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名	
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy	71-85
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名 Environmental Science and Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	71-85 査読の有無
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3 . 雑誌名 Environmental Science and Policy	71-85
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名 Environmental Science and Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	71-85 査読の有無
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005	71-85 査読の有無 有
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005	71-85 査読の有無 有 国際共著
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名 Environmental Science and Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005	71-85 査読の有無 有 国際共著
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	71-85 査読の有無 有 国際共著 該当する
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin	71-85 査読の有無 有 国際共著 該当する
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara	71-85 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 275
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2.論文標題	71-85 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 275 5 . 発行年
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2.論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's	71-85 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 275
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2.論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations	71-85  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3. 雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3. 雑誌名	71-85  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2.論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations	71-85 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 275 5.発行年 2020年
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3. 雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3. 雑誌名	71-85  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3. 雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3. 雑誌名	71-85  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名 Environmental Science and Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス	71-85  査読の有無 有  国際共著  該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 115419
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia  3 . 雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419	71-85  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 115419  査読の有無 有
Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia 3.雑誌名 Environmental Science and Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2021.01.005  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2.論文標題 On the Potential of 'Photovoltaics + Electric Vehicles' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations 3.雑誌名 Applied Energy	71-85  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 275  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 115419

1.著者名	4 . 巻
Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng	269
Spandagos, constantine, masara rarine, Erik Baark, and 120 Ering Ng	
0 *A-LEGE	- 3%/-/ <del>-</del>
2.論文標題	5 . 発行年
'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen,	2020年
Include	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Applied Energy	115117
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.apenergy.2020.115117	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Trencher, Gregory Patrick, Araz Taeihagh, and Masaru Yarime	142
Trendier, Gregory Fattrick, Araz Taernagh, and masard Tarrine	
2 . 論文標題	5.発行年
Overcoming Barriers to Developing and Diffusing Fuel-Cell Vehicles: Governance Strategies and	2020年
Experiences in Japan	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Energy Policy	111533
Liolay Torroy	111000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.enpol.2020.111533	有
+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Mika Goto, Shauhrat Chopra, Manoj Kumar Nallapaneni, Kenji Tanaka,	117
AIII. AHAHUA. WASATU TATIHE. WIKA SULU. SHAUHTAL CHUDTA. WAHUT KUHAT NATTADAHEHI. KEHIT TAHAKA.	117
and Daishi Sagawa	- 7V /= -
	5.発行年
and Daishi Sagawa 2.論文標題	5.発行年 2020年
and Daishi Sagawa 2.論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case	
and Daishi Sagawa 2.論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan	2020年
and Daishi Sagawa  2.論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
and Daishi Sagawa 2.論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan	2020年
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
and Daishi Sagawa  2.論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3.雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	2020年 6 . 最初と最後の頁 109488
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 109488 査読の有無
and Daishi Sagawa  2.論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3.雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	2020年 6 . 最初と最後の頁 109488
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 109488 査読の有無
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 109488 査読の有無
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488	2020年 6.最初と最後の頁 109488 査読の有無 有
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488	2020年 6.最初と最後の頁 109488 査読の有無 有
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年  6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有  国際共著 該当する
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年  6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有  国際共著 該当する
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 15  5.発行年 2020年
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 15  5.発行年 2020年
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 955-974
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3. 雑誌名 Sustainability Science	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 955-974  査読の有無
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 955-974
and Daishi Sagawa  2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2. 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3. 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-019-00759-9	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 955-974  査読の有無 有
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 955-974  査読の有無
and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11625-019-00759-9	2020年 6.最初と最後の頁 109488  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 15 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 955-974  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Kobashi, Takuro, Kelvin Say, Jiayang Wang, and Masaru Yarime, Takahiro Yoshida, and Yoshiki	253
	200
Yamagata	F 38.4= <del>/-</del>
2 . 論文標題	5 . 発行年
Techno-Economic Assessment of Photovoltaics plus Electric Vehicles towards Household-Sector	2020年
Decarbonization in Kyoto and Shenzhen by the Year 2030	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Cleaner Production	119933
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jclepro.2019.119933	有
10.1010/j.j.je1ep10.2010.110000	P
+	<b>国際共英</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
	_
Ahl, Amanda, Mika Goto, and Masaru Yarime	15
2 . 論文標題	5 . 発行年
Smart Technology Applications in the Woody Biomass Supply Chain: Interview Insights and	2020年
0, 11	2020-
Potential in Japan	C 871 84 5 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sustainability Science	1531-1553
·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11625-019-00728-2	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンデクに入りはない、人はオープンデクに入が四無	10, 10
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4 . 巻
1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin	4 . 巻
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara	4.巻 275
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara 2 . 論文標題	4 . 巻 275 5 . 発行年
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara	4.巻 275
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara 2 . 論文標題	4 . 巻 275 5 . 発行年
1.著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2.論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年
1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3. 雑誌名	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年
1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3. 雑誌名	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419
1. 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2. 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3. 雑誌名	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen,	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include 3 . 雑誌名	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include 3 . 雑誌名	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include 3 . 雑誌名	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115117
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115117
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115117
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115117	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115117
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include  3 . 雑誌名 Applied Energy	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115117
1 . 著者名 Kobashi, Takuro, Takahiro Yoshida, Yoshiki Yamagata, Katsuhiko Naito, Stefan Pfenninger, Kelvin Say, Yasuhiro Takeda, Amanda Ahl, Masaru Yarime, and Keishiro Hara  2 . 論文標題 On the Potential of 'PV + EV' for Deep Decarbonization of Kyoto's Power Systems: Techno-Economic-Social Considerations  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115419  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Spandagos, Constantine, Masaru Yarime, Erik Baark, and Tze Ling Ng  2 . 論文標題 'Triple Target' Policy Framework to Influence Household Energy Behavior: Satisfy, Strengthen, Include  3 . 雑誌名 Applied Energy  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115117	4 . 巻 275 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115419 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 269 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 115117

1.著者名	4 . 巻
Trencher, Gregory Patrick, Araz Taeihagh, and Masaru Yarime	142
2 - 全人士 + 新田5	r 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
Overcoming Barriers to Developing and Diffusing Fuel-Cell Vehicles: Governance Strategies and	2020年
Experiences in Japan	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Energy Policy	111533
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.enpol.2020.111533	有
10.1016/ J.enpu1.2020.111555	净
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1. 著者名	4 . 巻
—	117
Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Mika Goto, Shauhrat Chopra, Manoj Kumar Nallapaneni, Kenji Tanaka,	117
and Daishi Sagawa	
2.論文標題	5 . 発行年
Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case	2020年
	2020 <del>T</del>
Study in Japan	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Renewable and Sustainable Energy Reviews	109488
o,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.rser.2019.109488	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
13 J J J J C N Cloudy ( NIGht) J J J J C NN EIGH	ma, o
. #46	. 211
1.著者名	4 . 巻
Kobashi, Takuro, Kelvin Say, Jiayang Wang, Masaru Yarime, Takahiro Yoshida, and Yoshiki	253
Yamagata	
2.論文標題	5.発行年
Techno-Economic Assessment of Photovoltaics plus Electric Vehicles towards Household-Sector	2020年
Decarbonization in Kyoto and Shenzhen by the Year 2030	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Cleaner Production	119933
Journal of Creaner Froduction	119933
IF SHAAL AAA ( 200 E.H. L. 200 E. L. AAADLES )	**************************************
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jclepro.2019.119933	有
10.1010/1.1010/10.4010.110000	
10.10.0/ 1.10.0010.120.10.110000	
	国際共著
オープンアクセス	国際共著
	国際共著 該当する
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	該当する
オープンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	該当する
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	該当する 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	該当する 4.巻 <sup>15</sup>
オープンアクセス	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	該当する 4.巻 <sup>15</sup>
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 955-974
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 955-974  査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 955-974
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-019-00759-9	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 955-974  査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-019-00759-9	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 955-974  査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki  2 . 論文標題 A Review of Data-Intensive Approaches for Sustainability: Methodology, Epistemology, Normativity, and Ontology  3 . 雑誌名 Sustainability Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-019-00759-9	該当する 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 955-974  査読の有無 有

1.著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa  2.論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development  3.雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	4.巻 107
Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa  2 . 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development  3 . 雑誌名	107
2. 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development 3. 雑誌名	
Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development 3.雑誌名	
Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development 3.雑誌名	= 7V./= /=
3.雑誌名	5.発行年
	2019年
Renewable and Sustainable Energy Reviews	6.最初と最後の頁
	200-211
	200-211
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1016/j.rser.2019.03.002	有
2	CO Day 11
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	160
Assistant, vives Amana, masara farrino, and motorara shaki	
2.論文標題	5
	5.発行年
Bridging Practices, Institutions, and Landscapes through a Scale-based Approach for Research	2019年
and Practice: A Case Study of a Business Association in South India	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Ecological Economics	240-250
-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ecolecon.2019.02.022	有
A #5.75 L.7	[=] [B/V + 1 +++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ahl, Amanda, Mika Goto, and Masaru Yarime	
7411, 7411attad, With Goto, and Wasart 12111116	
2.論文標題	5.発行年
Smart Technology Applications in the Woody Biomass Supply Chain: Interview Insights and	2019年
Potential in Japan	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sustainability Science	forthcoming
•	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →	有
	Ei.
10.1007/s11625-019-00728-2	į l
10.1007/s11625-019-00728-2	<b>国欧井</b> 荽
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス	国際共著
10.1007/s11625-019-00728-2	国際共著 該当する
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス	
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス	
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	該当する 4 . 巻
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名    Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru	該当する
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime	該当する 4.巻 5
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime 2 . 論文標題	該当する 4 . 巻 5
10.1007/s11625-019-00728-2  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime	該当する 4.巻 5
10.1007/s11625-019-00728-2  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime  2 . 論文標題     A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime 2 . 論文標題	該当する 4 . 巻 5
10.1007/s11625-019-00728-2  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime  2.論文標題 A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3.雑誌名	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年
10.1007/s11625-019-00728-2  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime  2 . 論文標題     A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/s11625-019-00728-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名    Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime  2 . 論文標題    A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime 2 . 論文標題 A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3 . 雑誌名 Palgrave Communications	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 108
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime  2 . 論文標題 A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3 . 雑誌名 Palgrave Communications  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 108
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime 2 . 論文標題 A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3 . 雑誌名 Palgrave Communications	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 108
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime 2 . 論文標題 A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3 . 雑誌名 Palgrave Communications  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1057/s41599-019-0318-6	該当する 4.巻 5 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 108  査読の有無 有
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Akerlof, Karen, Chris Tyler, Sarah Elizabeth Foxen, Erin Heath, Marga Gual Soler,, Masaru Yarime  2 . 論文標題 A Collaboratively Derived International Research Agenda on Legislative Science Advice  3 . 雑誌名 Palgrave Communications  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	該当する 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 108

1.著者名	4 . 巻
Ko, Yekang, Brendan F.D. Barrett, Andrea E. Copping, Ayyoob Sharifi, Masaru Yarime, and Xin Wang	11 (23)
2 . 論文標題	5.発行年
Energy Transitions Towards Low Carbon Resilience: Evaluation of Disaster-Triggered Local and Regional Cases	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sustainability	6801
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.3390/su11236801	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Kobashi, Takuro, and Masaru Yarime	158
2.論文標題	5.発行年
Techno-Economic Assessment of the Residential Photovoltaic Systems Integrated with Electric Vehicles: A Case Study of Japanese Households towards 2030	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Energy Procedia	3802-3807
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
10.1016/j.egypro.2019.01.873	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito	10
2.論文標題	5.発行年
Innovation System of Solar Photovoltaics in Thailand	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
○ · vremo ii	
Asian Research Policy	77-86
Asian Research Policy	77-86
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	77-86 査読の有無
Asian Research Policy	77-86
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	77-86 査読の有無 有 国際共著
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	77-86 査読の有無 有
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	77-86 査読の有無 有 国際共著 該当する
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	77-86 査読の有無 有 国際共著
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa	77-86 査読の有無 有 国際共著 該当する
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	77-86 査読の有無 有 国際共著 該当する
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa 2 . 論文標題	77-86 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 107 5.発行年 2019年
Asian Research Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa  2 . 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development	77-86 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 107 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa  2 . 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	77-86  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 107  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 200-211
Asian Research Policy 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa  2 . 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development 3 . 雑誌名	77-86 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 107 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa  2 . 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development  3 . 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	77-86  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 107 - 5 . 発行年 - 2019年 - 6 . 最初と最後の頁 - 200-211 - 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki	160
Abbitait, First Atlante, modern farme, and motorial a black	
A A A TERM	_ 7/
2.論文標題	5.発行年
Bridging Practices, Institutions, and Landscapes through a Scale-based Approach for Research	2019年
and Practice: A Case Study of a Business Association in South India	
	て 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Ecological Economics	240-250
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ecolecon.2019.02.022	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 英老々	4 . 巻
1. 著者名	_
Kobashi, Takuro, and Masaru Yarime	158
2.論文標題	5.発行年
·····	
Techno-Economic Assessment of the Residential Photovoltaic Systems Integrated with Electric	2019年
Vehicles: A Case Study of Japanese Households towards 2030	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Energy Procedia	3802-3807
Elicity Troccura	3002-3007
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.egypro.2019.01.873	有
, 33,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Yarime, Masaru, and Aitong Li	9 (\$3)
tallile. Wasalu. aliu Allonu El	3 (33)
Tailine, Masaru, and Airtong Li	9 (55)
	, ,
2.論文標題	5.発行年
2 . 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the	, ,
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities	5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities	5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623 オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3. 雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623 オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yarime, Masaru 2. 論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名 Environment Systems and Decisions	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 88-91
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名 Environment Systems and Decisions	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 88-91
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名 Environment Systems and Decisions	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 88-91
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities  3.雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yarime, Masaru  2.論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3.雑誌名 Environment Systems and Decisions  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10669-017-9655-4	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 88-91 査読の有無 有
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yarime, Masaru  2. 論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism  3. 雑誌名 Environment Systems and Decisions  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10669-017-9655-4 オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 88-91 査読の有無 有
2.論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities 3. 雑誌名 Global Policy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yarime, Masaru  2. 論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism 3. 雑誌名 Environment Systems and Decisions  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10669-017-9655-4	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 35-41 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 38 (1) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 88-91 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Pathirana, Shakila, and Masaru Yarime	178
Tathirata, Glakira, and madara faring	
2.論文標題	5.発行年
	2018年
Introducing Energy-Efficient Technologies in Small- and Medium-Sized Enterprises in the Apparel	2018年
Industry: A Case Study of Sri Lanka	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Cleaner Production	247 - 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jclepro.2017.12.274	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Scholz, Roland W., Masaru Yarime, and Hideaki Shiroyama	13 (2)
ocioi2, Norana II., masara rarime, and intecarr officearia	(2)
2.論文標題	5.発行年
	2018年
Global Leadership for Social Design: Theoretical and Educational Perspectives	2018#
2 18:51-67	こ 目知に目後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sustainability Science	447-464
Hartha hanna (1922 b. 1922 b. 1947)	**************************************
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11625-017-0454-0	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ahl, Amanda, Johanna Eklund, Per Lundqvist, and Masaru Yarime	175
, ,	
2.論文標題	5.発行年
Balancing Formal and Informal Success Factors Perceived by Supply Chain Stakeholders: A Study	2018年
of Woody Biomass Energy Systems in Japan	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
Journal of Cleaner Production	50-59
相撃処かのDOL / ごごカリナゴご_ カ   銃団フン	本芸の左領
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jclepro.2017.11.108	有

# 〔学会発表〕 計51件(うち招待講演 9件/うち国際学会 50件)

オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

# 1.発表者名

オープンアクセス

Chandra, Kevin, and Masaru Yarime

# 2 . 発表標題

A Patent Analysis of Digitalization in Climate Change-Related Technologies: Innovation, Corporate Strategies, and Policy Implications

国際共著

該当する

# 3 . 学会等名

The 8th European Conference on Corporate R&D and Innovation - CONCORDi 2021: Industrial Innovation for Competitive Sustainability, JRC-EC, EARTO, OECD, UNIDO, November 22-25 (2021) (国際学会)

4.発表年

Yarime, Masaru

## 2 . 発表標題

Governing Data-Driven Innovation for Sustainable Smart Cities: Implications for Science, Technology and Innovation Policy

#### 3.学会等名

XI International Academic Conference on Foresight and Science, Technology and Innovation Policy, National Research University Higher School of Economics, Moscow, October 15-26 (2021). (国際学会)

#### 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime

## 2 . 発表標題

Data Governance for the Public Acceptability of Personalised COVID-19 Advice: An Experimental Study in Hong Kong

#### 3. 学会等名

Data for Policy 2021 Conference, organized by University College London, United Kingdom, September 14-16 (2021)(国際学会)

# 4.発表年

2021年

#### 1.発表者名

Papyshev, Gleb, and Masaru Yarime

### 2 . 発表標題

Governance of Disruptive Emerging Technologies: Regulatory Gifting for Artificial Intelligence in Russia

### 3.学会等名

Data for Policy 2021 Conference, organized by University College London, United Kingdom, September 14-16 (2021) (国際学会)

## 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Kobashi, Takuro, Masaru Yarime, Erich Zusman, and Yoko Kawai

#### 2 . 発表標題

Socio-Technical Transition toward Net Zero Emission Kyoto by 2050

# 3 . 学会等名

The 40th Conference of the Japan Society of Energy and Resources, August 2-3 (2021)

# 4.発表年

Yarime, Masaru

# 2 . 発表標題

Facilitating Data-Driven Innovation to Address Sustainability Challenges: An Exploratory Analysis of DataGovernance in Smart Cities

#### 3.学会等名

The 18th International Joseph A. Schumpeter Society (ISS) Conference, July 8-10 (2021) (国際学会)

## 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Thu, Moe Kyaw, Shotaro Beppu, Qi Wang, Masaru Yarime, and Sotaro Shibayama

## 2 . 発表標題

Artificial Intelligence in Scientific Activities: An Organizational Analysis of Research Teams

## 3.学会等名

The 18th International Joseph A. Schumpeter Society (ISS) Conference, July 8-10 (2021)(国際学会)

# 4.発表年

2021年

#### 1.発表者名

Jiang, Xiaohui, and Masaru Yarime

### 2 . 発表標題

The Effects of Smart-city Related Public-Private Partnership Contracts on Innovation and the Performance of Smart Cities in China

### 3.学会等名

Fifth International Conference on Public Policy (ICPP5), July 5-9 (2021)(国際学会)

## 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Florentin, Kevin, and Masaru Yarime

# 2 . 発表標題

Understanding Greenfield Smart Cities: Data Governance for Sustainability in Kashiwa-no-ha, Japan

# 3.学会等名

Fifth International Conference on Public Policy (ICPP5), July 5-9 (2021)(国際学会)

# 4 . 発表年

Xie, Siqi, Zeng Xuan, and Masaru Yarime

## 2 . 発表標題

Whether ICT related government subsidy improves the innovation performance of enterprises in China: ICT patent analysis based on the international patent classifications

#### 3 . 学会等名

Fifth International Conference on Public Policy (ICPP5), July 5-9 (2021)(国際学会)

#### 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Yarime, Masaru

## 2 . 発表標題

Governing Data-Driven Innovation for Sustainable Smart Cities," Session on Stakeholder Collaboration for Sustainable Smart Cities: Maximizing the Potential of Data-Driven Innovation While Minimizing Risks to Communities

## 3.学会等名

Sustainability Research and Innovation Congress 2021, June 14 (2021) (国際学会)

# 4.発表年

2021年

#### 1.発表者名

Yarime, Masaru

### 2 . 発表標題

Facilitating Data Driven Innovation to Address Sustainability Challenges: The Regulatory Sandbox Approach in Smart Cities

### 3.学会等名

Sixth Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Annual Conference - Resilient and Inclusive Governance in the Age of Crisis, March 3-5 (2021) (国際学会)

## 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime

#### 2 . 発表標題

GIS based Big Data Platforms for Healthy Sustain able Cities: Challenges and Opportunities for Citizen Empowerment

# 3.学会等名

Sixth Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Annual Conference - Resilient and Inclusive Governance in the Age of Crisis, March 3-5 (2021)(国際学会)

# 4 . 発表年

Papyshev, Gleb, and Masaru Yarime

# 2 . 発表標題

Human Al Interaction in Public Sector: Literature Review

#### 3 . 学会等名

Sixth Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Annual Conference - Resilient and Inclusive Governance in the Age of Crisis, March 3-5 (2021) (国際学会)

#### 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Jiang, Xiaohui, and Masaru Yarime

#### 2.発表標題

Effects of Smart City-Related Public-Private Partnership Contracts on the Performance of Smart Cities in China

# 3.学会等名

Sixth Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Annual Conference - Resilient and Inclusive Governance in the Age of Crisis, March 3-5 (2021) (国際学会)

## 4 . 発表年

2021年

#### 1.発表者名

Dorrer, Elizaveta, and Masaru Yarime

#### 2.発表標題

Models of Collaboration in Smart City Projects: A Synthesis of Literature

### 3.学会等名

Sixth Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Annual Conference - Resilient and Inclusive Governance in the Age of Crisis, March 3-5 (2021) (国際学会)

## 4.発表年

2021年

## 1.発表者名

Jin, Mushan, and Masaru Yarime

#### 2 . 発表標題

Smart City Policy Coherence and Interplay across Government Levels in China: A Bibliometrics Based Discourse Network Analysis

# 3 . 学会等名

Sixth Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Annual Conference - Resilient and Inclusive Governance in the Age of Crisis, March 3-5 (2021) (国際学会)

# 4 . 発表年

Xie, Siqi, Ning Luo, and Masaru Yarime

## 2 . 発表標題

Governance for Data Collection, Sharing, and Use in Smart Cities in China: New Initiatives in Facilitating Innovation while Addressing Privacy and Security Concerns in Shenzhen

#### 3.学会等名

Data for Policy 2020 Conference, September 15-17 (2020) (国際学会)

## 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

Li, Veronica, and Masaru Yarime

#### 2.発表標題

Increasing Resilience toward COVID-19 via Risk Mapping: Challenges and Opportunities for Stakeholder Empowerment in Hong

#### 3. 学会等名

Data for Policy 2020 Conference, September 15-17 (2020) (国際学会)

# 4.発表年

2020年

#### 1.発表者名

Wu, Jing, Masaru Yarime, Kun Qian, and Bjorn W. Schuller

## 2 . 発表標題

Government's Data Governance under Crisis: Chinese Government's Approach to Big Data Governance in Combating COVID-19

### 3.学会等名

Online Workshop on Combating COVID-19 in Asia: Challenges and Opportunities, July 25 (2020) (国際学会)

## 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

Shapiro, Matthew A., and Masaru Yarime

#### 2 . 発表標題

Effects of National Affiliations and International Collaboration on Scientific Findings: The Case of Transboundary Air Pollution in Northeast Asia

# 3.学会等名

Western Political Science Association (WPSA) Annual Meeting 2020, United States, May 21-23 (2020)(国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名 Yarime, Masaru
2.発表標題 Implications of Data-Driven Innovation for Roadmapping in the Presence of Technological Uncertainty and Complexity
3.学会等名 EcoDesign 2019 Conference, Yokohama, Japan, November 25-27(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
2.発表標題 The Role of Blockchain for Human Security
3. 学会等名 JAHSS-JASID Joint International Conference - Refugees/Migrants and Education/Employment: Seeking to Ensure Human Security, The University of Tokyo, Japan, November 16-17(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
2 . 発表標題 Data-Driven Innovation for Smart Cities: The Regulatory Sandbox Approach to Open Data
3.学会等名 Atlanta Conference on Science and Innovation Policy 2019, Georgia Institute of Technology, Atlanta, Georgia, United States, October 14–16(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
Governing Data-Driven Innovation in Cyber-Physical Systems: Open Data for Smart Cities
3.学会等名 CODATA 2019 Conference, organized by the Committee on Data (CODATA) of the International Science Council (ISC), Beijing, China, September 19-20(国際学会)
4. 発表年 2019年

Yarime, Masaru, and Mushan Jin

# 2 . 発表標題

Transforming Electronic Supply Chains for Smart Cities: An Analysis of the Innovation System in the Greater Bay Area in China

#### 3 . 学会等名

The 15th International Symposium on Global Manufacturing and China, Hangzhou, Zhejiang, China, September 7-8 (国際学会)

#### 4.発表年

2019年

## 1.発表者名

Yarime, Masaru

## 2 . 発表標題

Governing Data-Driven Innovation: Stakeholder Coordination in the Development of Smart Cities

# 3.学会等名

Workshop on Addressing Policy Challenges of Novel Technologies, Lee Kuan Yew School of Public Policy, National University of Singapore, Singapore, August 30-31 (招待講演) (国際学会)

#### 4.発表年

2019年

#### 1.発表者名

Ahl, Amanda Ahl, Mika Goto, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa

#### 2.発表標題

Practical Opportunities and Challenges of Blockchain in the Energy Sector: Expert Perspectives in Germany

# 3 . 学会等名

The 11th International Conference on Applied Energy, Vasteras, Sweden, August 12-15 (国際学会)

## 4.発表年

2019年

## 1.発表者名

Yarime, Masaru

#### 2.発表標題

Facilitating a Transition towards Urban Sustainability: An Analysis of the Innovation System of Smart Cities in Japan, United States, and China

# 3 . 学会等名

Sustainable Built Environment Conference 2019 Tokyo, The University of Tokyo, Japan, August 6-7(国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名 Jin, Mushan, Shauhrat S. Chopra, and Masaru Yarime
2. 発表標題 Sustainable Development Goals in Smart City Initiatives in China's Greater Bay Area
3.学会等名 The 10th International Conference on Industrial Ecology, Tsinghua University, Beijing, China, July 7-11 (国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
2.発表標題 Governing Data-Driven Innovation in Cyber-Physical Systems: Opportunities and Challenges in the Regulatory Sandbox
3.学会等名 International Conference on Global Regulatory Governance (ICGRG), Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, July 4-6 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
2. 発表標題 Governing Data-Driven Innovation in Cyber-Physical Systems: Opportunities and Challenges in the Regulatory Sandbox
3.学会等名 Fourth International Conference on Public Policy (ICPP4), Concordia University, Montreal, Canada, June 26-28 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa
2.発表標題
Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development

Global Summit on Blockchain Technology in the Energy Sector, Berlin, Germany, June 19-20 (招待講演) (国際学会)

3 . 学会等名

4 . 発表年 2019年

1	双丰业夕
	<b>平大石石</b>

Yarime, Masaru

## 2 . 発表標題

Governing Data-Driven Innovation: Opportunities and Challenges in the Regulatory Sandbox for the Development of Smart Cities

#### 3 . 学会等名

Public Administration Review (PAR) Symposium on Transformation of Government in the Era of Smart Technology, Copenhagen Business School, Copenhagen, Denmark, June 18 (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

2019年

## 1.発表者名

Yarime, Masaru

## 2 . 発表標題

Governing Data-Driven Innovation: Innovation Systems of Smart Cities and Implications for Public Policy

#### 3. 学会等名

International Conference on Data for Policy 2019, University College London, London, United Kingdom, June 11-12(国際学会)

# 4 . 発表年

2019年

#### 1.発表者名

Yarime, Masaru

#### 2.発表標題

Policy Challenges in Al for Data Integration and Adaptive Governance

### 3.学会等名

Workshop on AI for Social Good, UNESCAP, APRU, and Google, Keio University, Tokyo, Japan, June 5(招待講演)(国際学会)

## 4.発表年

2019年

## 1.発表者名

Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Mika Goto, Shauhrat Chopra, Manoj Kumar Nallapaneni, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa

#### 2 . 発表標題

Exploring Blockchain and New Ways Forward in the Energy Sector: A Case Study in Japan

# 3.学会等名

Applied Energy A+B Symposium (AEAB2019), Massachusetts Institute of Technology, Cambridge, Massachusetts, United States, May 22-24(国際学会)

# 4 . 発表年

1.発表者名 Yarime, Masaru
2.発表標題 Fostering Data-Driven Innovation for Sustainability Transitions: Local Initiatives and Global Implications
3.学会等名 International Workshop on Rethinking Clusters: The Local and Global Scale of Sustainability Transitions, University of Padua, Padua, Italy, May 15-17(招待講演)(国際学会) 4.発表年
2019年
1 . 発表者名 Yarime, Masaru
2 . 発表標題 Governance and Policy Innovation in an Era of Disruptive Technologies: Opportunities and Challenges in Public Policy
3. 学会等名 Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Conference 2019, Hong Kong University of Science and Technology (HKUST), Hong Kong, March 8-9 (2019) (招待講演) (国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
2 . 発表標題 Governing Data-Driven Innovation for Smart Cities: Policy Challenges in Blockchain-Based Distributed Energy Systems
3.学会等名 Asia-Pacific Public Policy Network (AP-PPN) Conference 2019, Hong Kong University of Science and Technology (HKUST), Hong Kong, March 8-9 (2019)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yarime, Masaru
2. 発表標題 Governing Data-Driven Innovation: The Development of Smart Cities and Policy Implications for Sustainability

Second Annual Conference of the India Public Policy Network (IPPN), University of Delhi, Delhi, India, February 5-6 (2019) (国際学会)

3 . 学会等名

4.発表年 2019年

Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa

## 2 . 発表標題

Establishing Blockchain-Based Distributed Energy Platforms: Implications for Public Policy and Institutional Design

#### 3 . 学会等名

Behavior, Energy & Climate Change Conference 2018, Washington, D.C., United States, October 7-10 (2018) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Ling, Frank, and Masaru Yarime

#### 2.発表標題

Comparison of Urban Air Pollution Monitoring Networks Using Low-Cost Sensors in Fixed, Mobile, and Paired Modes: Lessons for Developing Economies

### 3. 学会等名

14th international Committee on Atmospheric Chemistry and Global Pollution Quadrennial Symposium and 15th International Atmospheric Chemistry Conference, Takamatsu, Japan, September 25-29 (2018) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

Asokan, Vivek Anand, Masaru Yarime, and Motoharu Onuki

#### 2.発表標題

Concepts and Methodologies of Data Informed Approaches for Sustainability: A Relational Approach to Policy and Research in Monsoon Asia

# 3 . 学会等名

The 7th World Sustainability Forum, Beijing, China, September 19-21 (2018) (国際学会)

## 4 . 発表年

2018年

## 1.発表者名

Nyberg, Roy, and Masaru Yarime

#### 2 . 発表標題

What is Digital Transformation? Assessing the Impact of 'Smart City' Development in Japan

# 3 . 学会等名

Second Digital Transformation and Strategy Forum, Cass Business School, City University of London, United Kingdom, September 10 (2018) (国際学会)

# 4 . 発表年

Kobashi, Takuro, and Masaru Yarime

# 2 . 発表標題

Techno-Economic Assessment of the Residential Photovoltaic Systems Integrated with Electric Vehicles: A Case Study of Japanese Households towards 2030

#### 3 . 学会等名

The 10th International Conference on Applied Energy (ICAE2018), Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong, August 22-25 (2018) (国際学会)

#### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Yarime, Masaru

## 2 . 発表標題

A Comparative Analysis of the Innovation Systems of Smart Cities in Japan, United States, and China

### 3. 学会等名

The 17th International Schumpeter Society (ISS) Conference "Innovation, Catch-up, and Sustainable Development," Seoul National University, Seoul, South Korea, July 2-4 (2018) (国際学会)

#### 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

Yarime, Masaru

#### 2.発表標題

Smart Cities as a Nexus of the Energy and Information and Communication Industries: An Analysis of the Innovation Systems of Smart Cities in Japan and the United States

### 3.学会等名

International Conference on Innovation Studies, Research Center for Technological Innovation, School of Economics and Management, Tsinghua University, Beijing, China, June 23-24 (2018) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Ahl, Amanda, Masaru Yarime, and Ali Kharrazi

#### 2 . 発表標題

The Skills Gaps for Innovation in Smart Cities: Implications for Institutional Arrangements

# 3 . 学会等名

Global Conference of the Council of Engineering Systems Universities (CESUN 2018), Tokyo, June 20-22 (2018)(国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名 Liu, Books, Mushan Jin, and Masaru Yarime	
2. 発表標題 The Innovation System of Smart Cities in Japan: Implications for the Development of New Smart C	ities in China
3.学会等名 First Global Chinese Urban Governance Workshop, Shanghai Jiaotong University, June 11-12 (2018)	(国際学会)
4.発表年 2018年	
1 . 発表者名 Chopra, Shauhrat S., and Masaru Yarime	
2. 発表標題 Towards Realizing the Potential of Blockchain Technology for Industrial Ecology	
3.学会等名 Gordon Research Conference on the Role of Industrial Ecology in Reaching the Sustainable Develo Switzerland, May 20-25 (2018)(国際学会)	pment Goals, Les Diablerets,
4 . 発表年 2018年	
〔図書〕 計15件	T
1.著者名 Aoki, Naomi, Melvin Tay Yongyao, and Masaru Yarime	4 . 発行年 2022年
2.出版社 Edward Elgar	5.総ページ数 -
3.書名 "Trust in AI - Is It Different in the Public Sector?" in Yannis Charalabidis, Rony Medaglia, and Colin van Noordt, eds., Research Handbook on Public Management and Artificial Intelligence	
1.著者名 Stephenson, Matthew, Iza Lejarraga, Kira Matus, Yacob Mulugetta, Masaru Yarime, and James Zhan	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 Springer Nature	5.総ページ数 -
3.書名 "AI as a SusTech Solution: Enabling AI and Other 4IR Technologies to Drive Sustainable Development through Value Chains," in Francesca Mazzi and Luciano Floridi, eds., The Ethics of Artificial Intelligence for the Sustainable Development Goals	

1.著者名	4.発行年
Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime	2021年
2.出版社	5.総ページ数
Academic Press	334
"Japanese Smart Cities and Communities: Integrating Technological and Institutional Innovation	
for Society 5.0," in Hyung Min Kim, Soheil Sabri, and Anthony Kent, eds., Smart Cities for	
Technological and Social Innovation: Case Studies, Current Trends, and Future Steps	
recliniological and occide filliovation. Case ordares, outlient fillions, and ruture oreps	
1.著者名	4
	4.発行年
Yarime, Masaru	2020年
11854	- W
2. 出版社	5.総ページ数
United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific (ESCAP), Association of	284
Pacific Rim Universities (APRU), and Google	
3.書名	
"Governing Data-driven Innovation for Sustainability: Opportunities and Challenges of	
Regulatory Sandboxes for Smart Cities," in AI for Social Good	
1.著者名	4 . 発行年
	4 . 発行年 2020年
1.著者名 Yarime, Masaru	
Yarime, Masaru	2020年
Yarime, Masaru 2.出版社	
Yarime, Masaru	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru 2.出版社	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru 2 . 出版社 Edward Elgar	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan,"	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3.書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3.書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan,"	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3.書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3.書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era	2020年 5 . 総ページ数
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity	2020年 5.総ページ数 <sup>224</sup>
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity	2020年 5.総ページ数 <sup>224</sup> 4.発行年
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity	2020年 5.総ページ数 <sup>224</sup>
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名	2020年 5.総ページ数 <sup>224</sup> 4.発行年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名	2020年 5.総ページ数 <sup>224</sup> 4.発行年
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1 . 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity	2020年 5.総ページ数 <sup>224</sup> 4.発行年
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1 . 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1 . 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1 . 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime  2. 出版社 Elsevier	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime  2. 出版社 Elsevier	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime  2. 出版社 Elsevier  3. 書名 "Japanese Smart Cities and Communities: Integrating Technological and Institutional Innovation	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime  2. 出版社 Elsevier  3. 書名 "Japanese Smart Cities and Communities: Integrating Technological and Institutional Innovation for Society 5.0," in Hyung Min Kim, Soheil Sabri, and Anthony Kent, eds., Smart Cities for	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2. 出版社 Edward Elgar  3. 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1. 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime  2. 出版社 Elsevier  3. 書名 "Japanese Smart Cities and Communities: Integrating Technological and Institutional Innovation	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年
Yarime, Masaru  2 . 出版社 Edward Elgar  3 . 書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity  1 . 著者名 Barrett, Brendan, Andrew DeWit, and Masaru Yarime  2 . 出版社 Elsevier  3 . 書名 "Japanese Smart Cities and Communities: Integrating Technological and Institutional Innovation for Society 5.0," in Hyung Min Kim, Soheil Sabri, and Anthony Kent, eds., Smart Cities for	2020年 5.総ページ数 224 4.発行年 2020年

. +++-	4 7V./
1. 著者名	4 . 発行年
Yarime, Masaru	2020年
ع الله عليان	Γ 4/\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
2. 出版社	5.総ページ数
Edward Elgar	93-106
3 . 書名	
"Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in the Case of Japan,"	
in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Smart Cities in Asia: Governing Development in the Era	
of Hyper-Connectivity	
*	
1. 著者名	4.発行年
Tantiwechwuttikul, Ranaporn, and Masaru Yarime	2019年
2.出版社	5.総ページ数
	5 . 総ヘーン叙 405-423
Asian Development Bank Institute (ADBI) and Springer	700-420
3 . 書名	
"Financing Solar Photovoltaic Transitions: From Utility to Residential Market Adoption in	
Emerging Economies," in Jeffery Sachs, Woo Wing Thye, Naoyuki Yoshino, and Farhad Taghizadeh-	
Hesary, eds., Handbook of Green Finance: Energy Security and Sustainable Development	
<del></del>	
	7V./= h-
1.著者名	4.発行年
Kharrazi, Ali, Tomohiro Akiyama, and Masaru Yarime	2019年
2 . 出版社	5 . 総ページ数
Springer	- · mo · / x^
10/1/10/04	-
opi inger	-
	-
3 . 書名	-
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of	-
3 . 書名	-
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of	-
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of	-
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of	-
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education	4
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名	4.発行年2019年
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education	4.発行年 2019年
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名	
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito	2019年
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名	
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito	2019年
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2.出版社	2019年 5 . 総ページ数
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2.出版社 Springer	2019年 5 . 総ページ数
3 .書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1 . 著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2 . 出版社 Springer  3 .書名	2019年 5 . 総ページ数
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2.出版社 Springer  3.書名 "Solar Photovoltaic Market Adoption: Dilemma of Technological Exploitation vs. Technological	2019年 5 . 総ページ数
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2.出版社 Springer  3.書名 "Solar Photovoltaic Market Adoption: Dilemma of Technological Exploitation vs. Technological Exploration," in Allen H. Hu, Mitsutaka Matsumoto, Tsai Chi Kuo, and Shana Smith, eds.,	2019年 5 . 総ページ数
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2.出版社 Springer  3.書名 "Solar Photovoltaic Market Adoption: Dilemma of Technological Exploitation vs. Technological	2019年 5 . 総ページ数
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education  1.著者名 Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito  2.出版社 Springer  3.書名 "Solar Photovoltaic Market Adoption: Dilemma of Technological Exploitation vs. Technological Exploration," in Allen H. Hu, Mitsutaka Matsumoto, Tsai Chi Kuo, and Shana Smith, eds.,	2019年 5 . 総ページ数

1.著者名	4 . 発行年
Yarime, Masaru	2019年
2.出版社	5.総ページ数
Edward Elgar	300
3.書名 "Facilitating Innovation for Smart Cities: The Role of Public Policies in Japan," in Yu-Min Joo and Teck-Boon Tan, eds., Asian Smart Cities: Governing Development in the Era of Hyper-Connectivity	
1.著者名	4.発行年
Tantiwechwuttikul, Ranaporn, and Masaru Yarime	2019年
2.出版社	5.総ページ数
Springer and Asian Development Bank Institute (ADBI)	700
3.書名 "Financing Solar Photovoltaic Transitions: From Utility to Residential Market Adoption in Emerging Economies," in Jeffrey Sachs, Woo Wing Thye, Naoyuki Yoshino, and Farhad Taghizadeh-Hesary, eds., Handbook of Green Finance: Energy Security and Sustainable Development	
1.著者名	4.発行年
Kharrazi, Ali, Tomohiro Akiyama, and Masaru Yarime	2019年
2.出版社	5.総ページ数
Springer	223 Entries
3.書名 "Resilience Thinking and Sustainable Development," in Walter Leal Filho, ed., Encyclopedia of Sustainability in Higher Education	
1.著者名	4.発行年
Tantiwechwuttikul, Ranaporn, Masaru Yarime, and Kohzo Ito	2019年
2.出版社	5.総ページ数
Springer	377
3.書名 "Solar Photovoltaic Market Adoption: Dilemma of Technological Exploitation vs Technological Exploration," in Allen H. Hu, Mitsutaka Matsumoto, Tsai Chi Kuo, and Shana Smith, eds., Technologies and Eco-innovation towards Sustainability II	
	ı

1.著者名 Yarime, Masaru, and Martin Karlsson	4 . 発行年 2018年
2.出版社	5 . 総ページ数
Cambridge University Press	500
3.書名	
"Examining Technological Innovation Systems of Smart Cities: The Case of Japan and Implications for Public Policy and Institutional Design," in Jorge Niosi, ed., Innovation Systems, Policy and Management	

# 〔産業財産権〕

## 〔その他〕 YARIME Mass

http://yarime.net/Research.html	ACTIVITIES		

6 . 研究組織

 <u> </u>	WI > CMILMAN		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

# 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------